

第32回関西学生対校女子駅伝競走大会

開催日：2022年9月23日（金祝）

場所：神戸しあわせの村

種目	距離	名前	学年	通過着順	区間着順	記録	備考
総合	30.0km	関西外国語大学		総合5位 (16チーム中)		1時間42分47秒	全日本大学女子駅伝 出場決定 (3年連続8回目)
1区	3.9km	山岸 みなみ	3年	8	8	13分05秒	1位 立命館大学(シード) 1.39.12 2位 大阪学院大学(シード) 1.40.05 3位 佛教大学 1.42.13 4位 関西大学 1.42.35 5位 関西外国語大学 1.42.47
2区	3.3km	佐藤 桜子	2年	8	8	11分17秒	6位 大阪芸術大学 1.43.04 7位 京都光華女子大学 1.43.48 (立命館大学(シード)、大阪学院大学(シード)に加え、関西枠として5校(7位まで)の系7大学がチーム全日本大学女子駅伝の出場権を得た)
3区	6.5km	矢尾 桃子	4年	4	3	21分41秒	
4区	6.5km	三輪 南菜子	2年	3	2	22分08秒	
5区	3.3km	札幌 美桜	1年	3	7	11分05秒	
6区	6.5km	清水 萌楓	3年	5	8	23分31秒	

【山本コメント】

本大会は、関西学生のチャンピオンを決める優勝争いと、全日本大学女子駅伝への出場権をかけた勝負が例年熾烈を極める。今年は2大学(立命館大学、大阪学院大学)がシード権を得ており、全日本への関西枠「5」をかけて各大学が競い合った。雨天での開催となった中、本学は過去最高順位タイの5位でフィニッシュし、3年連続8回目の全日本大学女子駅伝への出場権を獲得することができた。

レースは、1区からフィニッシュまで立命館大学が先頭をキープして、昨年に引き続き優勝した。2位にはもうひとつのシード校である大阪学院大学が入った。3位以降は混戦となった中、本学は2区終了まで8位だった順位を3区、4区で3位まで上げ、5区終了まで3位をキープ、最終6区の終盤で順位を落としたが、過去最高順位タイの5位を確保してフィニッシュした。現状まだチーム状態がなかなか上がっていない中で苦戦を予想していたが、選手として走った学生もサポートに回った学生も全員が当日のベストを尽くし、その成果として幸運にも全日本への出場権を確保することができた。1ヶ月後の全日本大学女子駅伝では、チーム態勢をさらに仕上げて臨めるように準備していきたい。

コロナ禍において過去2年間は無観客での開催だったが、今年は感染予防対策をした上で、3年ぶりに有観客開催となった。駅伝に臨む学生たち、運営する審判、学生役員、補助員の方々、そして現地応援、LIVE配信で観戦する方々、メディアの方々、皆が協力して大会を盛り上げ、それぞれの立場から駅伝競技を楽しむ機会となったと感じた。学生たちは、様々な方々と関わることによって、自分たちの立ち位置を理解し、最大限の力を発揮することもできる。これまでコロナ禍で多くの大切な機会を失ってきたが、今後は過剰に若者たちの成長の場が制約されることのないように願い、我々としても社会に何らかの貢献ができるよう積極的に活動していきたい。その中で学生たちが学んでいけるようにしたい。本大会の開催に向けて準備、運営にご尽力いただいた方々、ご理解ご協力いただいたすべての方々に感謝申し上げます。